

からだのとしよしつ だより

(2号 '06. 10. 25)

お気軽においでください

からだのとしよしつは、現在8名のボランティアが司書とともに活動しております。

利用される方は、入院患者様、外来へ受診される患者様、付き添いのご家族の皆様などです。ご自分の病気や関連するお薬について知りたいと思われ、ご自身で書架をご覧になり本を手にとられたりする方もいらっしゃいます。そのときに、司書やボランティアがお手伝いをして、必要な情報と一緒に探したり、それをコピーすることもしております。

「医食同源」と言われますが、日常の食生活が病気の改善の一助にもなりますので、食事の摂取についてのお尋ねも、かなり見られます。製薬会社などが提供しているパンフレットの中には、わかりやすいイラスト入りで生活習慣病の予防について説明しているものもあり、それらをお持ち帰りになれる方もいらっしゃいます。

また、小さなお子様の中には、人体の構造を簡単に解説した大人も子供も楽しめる本などに興味を示される方もあります。

様々な資料があります。お気軽においでください。(SF)

発行：からだのとしよしつ ボランティアグループ
からだのとしよしつ (東邦大学医療センター大森病院 2号館 3階)
開室日時：平日 10:00~16:00 土・日・祭日はお休みです。
WEB版「からだのとしよしつ」でも資料と探し方のご案内しております。<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>

【資料の紹介】 おすすめの一冊

『透視人体解剖図』新訂版 (新井正治編 金原出版 2004年)

■よく知っているようで知らないのが自分の身体だったりしませんか？- よく耳にする臓器なのに、どんな形をして体のどのあたりにあるのだろう、ということはないですか？

■たとえば肝臓はどんな形をしていて、体のどこにあるのでしょうか。
- 胆のうは？ - 腎臓は？ -臓器の形や場所、働きについて、ほんの少し知るだけでも、検査法や治療法に関する医師からの説明がとてもわかりやすくなると思われます。

■本書は、そんなときにきっとお役に立つ一冊です。腹部は臓器が重なり合っています。そのさまを「透視」するだけのびっくりするようなシンプルさですが、前から後ろから眺めるように作られています。このシンプルさを補足する資料も、たくさん揃えています。まずは、一度ご覧になってください。(M)

闘病記 700 冊の検索が簡単に！

「闘病記ライブラリー」がインターネット上に公開
必要なら「としょしつ」の係りが検索のお手伝いを

病気になったとき、いちばん知りたくなるのは同じ病気の方の体験ではないでしょうか。

ところが、闘病記は書名に疾患名が書いてないケースも多く、図書の分類でも「闘病記」はないので、図書館でも書棚から探すのが困難で、患者さんやその家族の方が同じ疾患の闘病記を探しにくいのが実情でした。

最近、探し出しやすい「闘病記ライブラリー」がインターネット上に公開されました。「がん」など 700 冊の闘病記を疾患別に分類、本の装丁や目次も画像として表示されるので、内容の把握もしやすく、検索がとても簡単に出来ます。

これは国立情報学研究所教授と市民団体「健康情報棚プロジェクト」が協力して作成したもので、ホームページは (<http://toubyoki.info/>) です。(日経新聞 2006-6-12 参照)

この「闘病記ライブラリー」は、ご自分のパソコンや携帯から検索できます。もし当院内で調べたい場合は、「からだのとしょしつ」の自由に使えるインターネット接続パソコンをどうぞお使い下さい。使い方に自信のない方は、係りの者が検索のお手伝いをいたします。

ただし、インターネット上のライブラリーですから、書籍名などの検索までは出来ませんが、図書実物が目の前にそろっているわけではありません。従って、書籍を決めてから、どこの公共図書館にあるか？あるいは出版社に在庫があるか？と、更に書籍実物に行き着く努力が必要です。



(上図)

「闘病記ライブラリー」
ホームページのトップページ
です。

(左図)

「小児の病気」→「小児がん」
→「小児がん病棟の窓から」
を選択すると表紙の画像と
本の説明が書いてあります。



(KN)